

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	有田市役所			代表者名	玉木 久登
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	経営管理部総務課デジタル推進室	連絡先電話番号	0737-22-3745
担当者役職	主任	担当者氏名	長岡 賢紀	連絡先E-mail	
住所	649-0392 和歌山県有田市箕島50				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	トップセミナー	事業名	市内事業者向けDX勉強会		
概要	市内事業者を対象とした、デジタル活用に向けた基礎的な知識や中小企業におけるDX事例を学ぶセミナーの実施				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 地域ビジネス ICT活用広報 シェアリングエコノミー				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年2月12日	講演(実地)	13時00分	15時30分	
				活動時間（分）	150
2-2. 派遣場所	会場名	紀州有田商工会議所 会議室		最寄駅	箕島駅
	所在地	〒649-0304 和歌山県有田市箕島33-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	米田 宗義
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	地元企業・団体向けのDXセミナーでの講演を実施いただいた。本セミナーの目的は地元企業・団体における、デジタル活用に対する心理的ハードルを下げ、デジタル活用による地域課題の解決に取り組む有田市スマートシティ推進協議会への加入者を増やすことであり、講演においては、本目的に沿うかたちで、デジタル化の必要性や簡単に始められる最初の一步についてご説明いただいた。また、デジタル活用においては一人で悩まず、地域の「横のつながり」を活かすことが重要であることもご説明いただき、協議会の活用法についても触れていただいたことで、協議会への加入者確保にもつながった。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	27人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	2	25		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	市が抱える地域課題や目指す将来像に対して、デジタル技術やデータの利活用による解決策を官民連携で企画・運用することを目的として、市と地元事業者等で設立した「有田市スマートシティ推進協議会」（以下、協議会という。）では、取組を進めている分野が限定的であることが課題となっている。取組分野を拡大させていくためには、共に地域課題の抽出や解決策の検討を行うプレイヤーの役割を担う地元事業者の加入を増加させていきたいと考えているが、地元事業者の地域社会DXへの理解度が低い状態であり、加入者を獲得できていない状況である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	協議会への地元事業者の参画に伴い、地元事業者や団体のデジタル化が推進され、新しいビジネスモデルやサービスの創出や迅速な情報発信が地域内で実現することにより、地域経済の持続的な発展を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	地元の企業・団体向けに下記の内容について講演いただいた。 ・今、デジタル活用が必要な理由 ・デジタル活用により変革できること ・中小企業において狙うべき「最初の一步」 ・地域の「横のつながり」を活かす	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル活用は大きな投資を要するものではなく、今の困りごとに対する身近・安価なサービスを小さく試すことができるのがメリットであり、単なる省人化ではなく人を豊かにするために取り組むものであることを講演いただいた結果、地元企業・団体におけるデジタル活用に対する心理的ハードルが下がったと考えられる。また、講演時にデジタル活用の相談窓口として協議会をご紹介いただいた結果、2社から協議会への加入申し込みを頂けた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑦その他 ・地元企業、団体におけるデジタル活用に対する理解度向上 ・協議会への新規加入者
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にございません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者の約90%が今回のセミナーの内容に満足しており、デジタル化に取り組んでみたいと回答している。また、デジタル化に関する支援策については、セミナー等の事例紹介や伴走的な支援が必要との回答があった。自由記述においては、高齢者でもデジタルを使ってみたくなる事例を紹介してほしいという要望や今後も参加したいとの声があった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="checkbox"/> ②次年度に予算化を図り推進する 次年度予算(未確定)において、地元企業・団体と域外のITベンダーが連携し、市が提示する地域課題の解決に資する取組について定額内での支援を実施する事業を予定している。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	共に地域課題の抽出や解決策の検討を行うプレイヤーの役割を担う地元事業者の加入が進み、域外のITベンダー等と連携しながら、共創による地域課題の解決が進む。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子**がわかる「**写真(JPEG等)**」を数枚程度貼り付けて下さい。

